米子アリーナ
計画概要説明書

2025.05

Ⅰ ｜ 事業コンセプト

アリーナと公園が融合した市民の活動と交流の新しい拠点

■ 事業コンセプト「GA I NA Sustainable Park」

「もりあがる」「たのしむ」「そだてる」場の創出と、県西部のスポーツの拠点として、東山公園とつながる施設づくりにより、内外の市民の活動が地域全体を活性化する。

■ 市の目指す基本コンセプトに合致した３つの整備方針

Ga teway “もりあがる”

市の整備方針①：
スポーツをはじめとした交流人口の拡大を通じた地域活性化に資する施設

I nclusive “たのしむ”

市の整備方針②：
年齢や障がいの有無を問わず誰もがスポーツに親しみ健康づくりに役立つ施設

Na ture “そだてる”

市の整備方針③：
安心・安全なまちづくりに貢献する施設



■賑わい盛り上がる「エンタメアリーナ」

市民からトップアスリートまで快適に競技できる高品質なアリーナの整備により、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、夢や感動を与える観戦環境を提供し、活力のある地域形成に貢献。

■公園全体に活気が広がる「パークアリーナ」

園路を付け替えて既存園路を大きな広場空間に変え施設連携と公園の魅力を高め、一体的でつながりのある総合運動公園に再編。

■だれもが親しめる「ユニバーサル・アリーナ」

明快なゾーニングとシンプルな配置・動線により行きやすく・使いやすく・わかりやすい、パラスポーツにも適しただれもが利用しやすい施設。

■健康づくりを支える「フィットネス・アリーナ」

楽しく仲間と身体を動かすことのできる外構・諸室を整備し、だれもが気軽にフィットネスに親しめる施設。まちづくりの施策として掲げる「歩いて楽しいまち よなご」を東山エリアに拡張。

■環境と共生した「サスティナブル・アリーナ」

立地特性に合致した自然エネルギーを積極的に活用し、将来の解体工事まで含んだ施工性と維持管理に優れたシンプルデザイン・合理的な架構計画により、LCC を縮減した持続可能な施設を実現。

■災害から地域を守る「セーフティ・アリーナ」

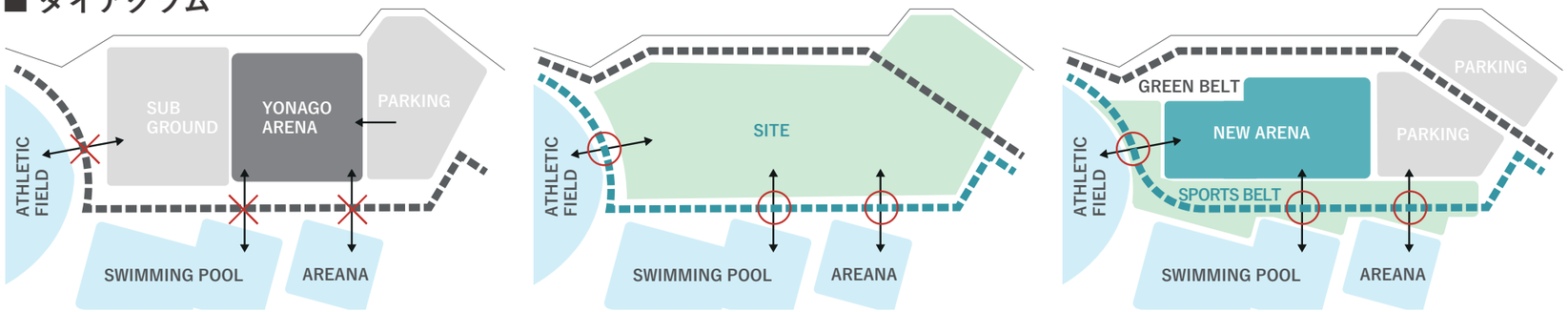
浸水想定以上のフロア設定と十分な耐震性を備えた構造架構により、災害時には避難所・防災拠点として「市民の命」を守る。

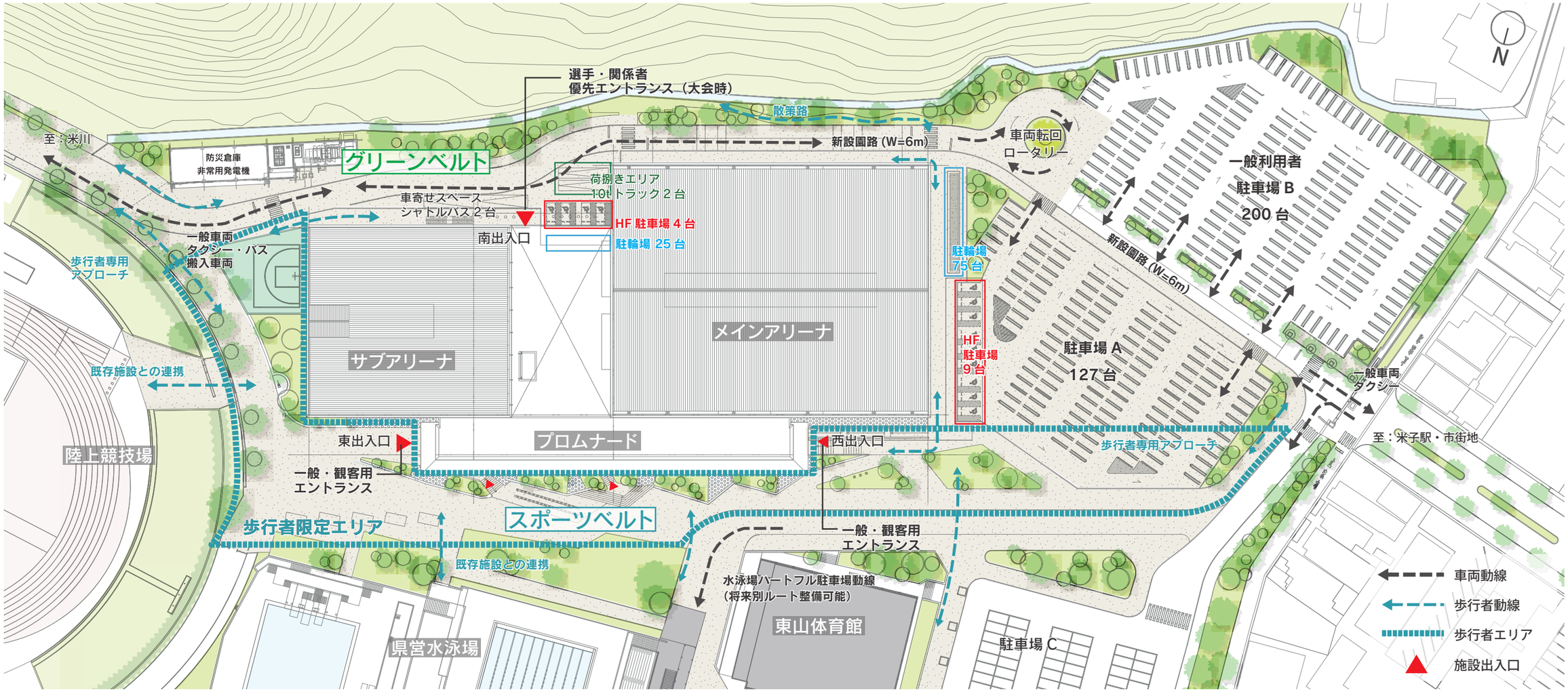
東側にまとめたコンパクトな施設構成と園路付替により、多面的に優れた施設を実現

■ 配置計画

・計画地北側を県営水泳場や東山体育館とつながる公園の重要なハブ空間として捉え、**園路を敷地南側に付け替え**公園全体を再編します。
・北側に各施設との連携を高める歩行者ネットワーク**「スポーツベルト」**、南側に公園の緑ネットワークを継承する新設園路**「グリーンベルト」**を整備します。

■ ダイアグラム





Ⅱ　｜　マスタープラン

ダブルベルトによって公園全体を再編し、一体的な総合アミューズメントパークを実現

大きな広場空間を公園の中心につくることで東山公園の一体感が生まれ、まちともつながりのある総合運動公園に再編



※PFI 公募時 完成イメージパース

III ｜ 施設構成

明快なゾーニングとシンプルな諸室配置・動線計画

■ 平面計画

①利用頻度の高い諸室を 1 階に集約した「フラットアリーナ」

メイン・サブアリーナ、トレーニングルーム、会議室など利用頻度の高い諸室は全て 1 階に配置し、同じフロアレベルで移動可能です。

②多方面の来園者を出迎える 「東西エントランス」

東西それぞれで人々を迎え入れるエントランスを整備し、近接した視認性が高い位置に階段とエレベーターをそれぞれ設置します。

③3 つのエリアにまとめた 視線の通るわかりやすい空間構成

メインアリーナゾーン、サブアリーナゾーン、トレーニングルームやスタジオをまとめたスポーツ諸室ゾーンの 3 つのエリアで構成し、中央にそれぞれのゾーンをつなぐコアとして事務室や更衣室、会議室等を集約配置します。



④利便性を高める施設中央のワンストップ受付

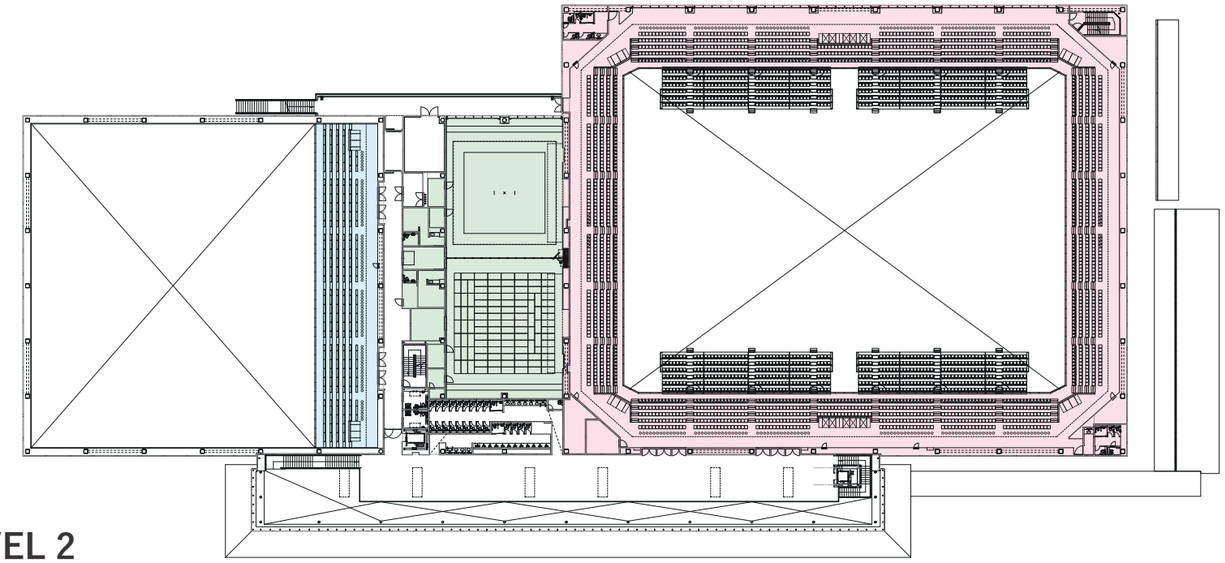
公園・施設利用者が一目でわかる位置に開放型の受付カウンターを設置し、利用者の利便性を高めます。

⑤武道場を 2 階中央に配置

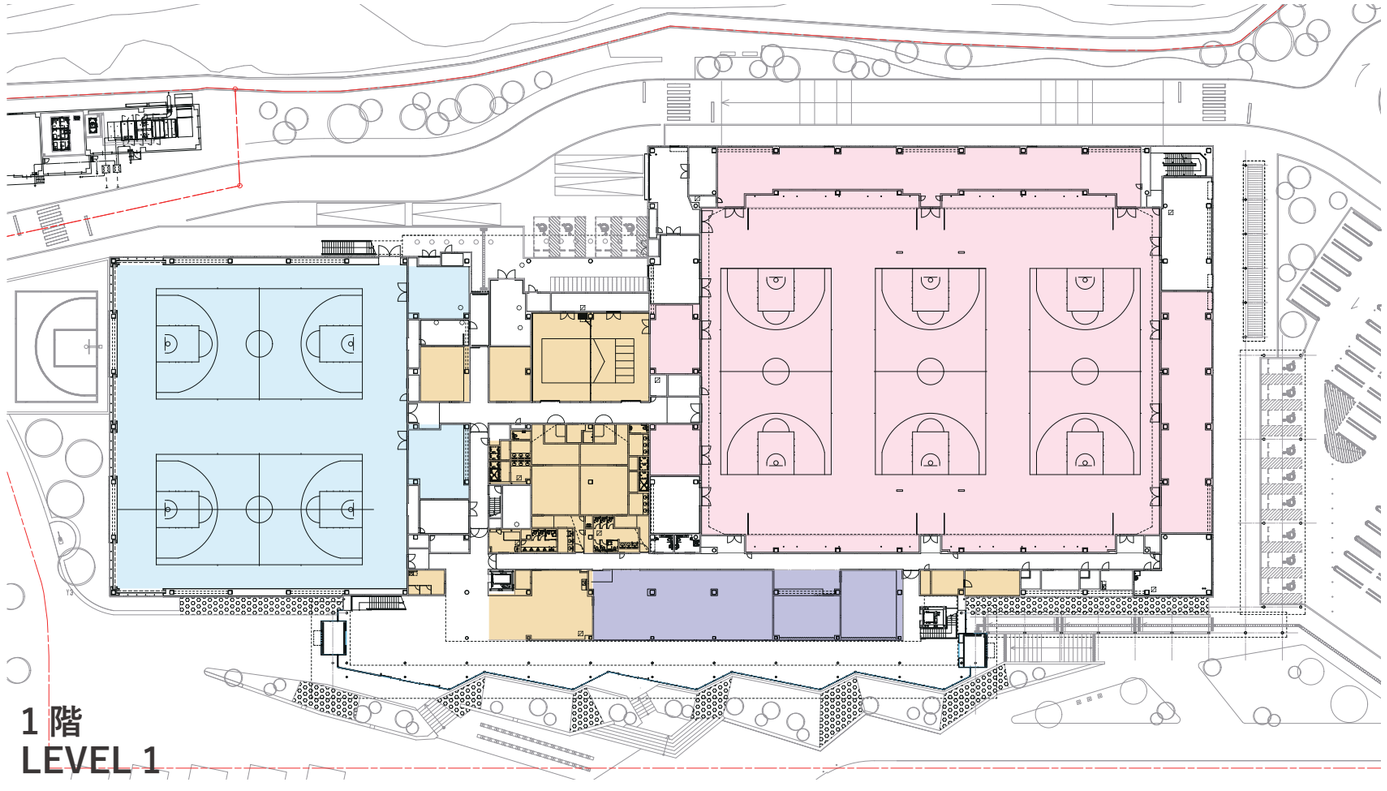
武道場の南側には大きな開口を設け、東山の豊かな自然環境を取り入れることで明るく開放的な空間を創出します。

⑥大会時の混雑を緩和する観客の大きな溜まり空間

イベント時には入場前の観客の滞留が予測されます。雨や雪の多い山陰の気候に配慮し、大きな溜まり空間は屋内に計画します。



2 階
LEVEL 2



1 階
LEVEL 1

- Arena / メインアリーナ
- SUB-ARENA / サブアリーナ
- BUDO / 柔道場・剣道場
- GYM / トレ室・スタジオ
- PRIVATE/ 事務室・会議室
- PUBLIC / 共用部

III ｜ 施設構成

だれもがスポーツに親しみ・地域の活力を生み出す「県スポーツの中核となるアリーナ」

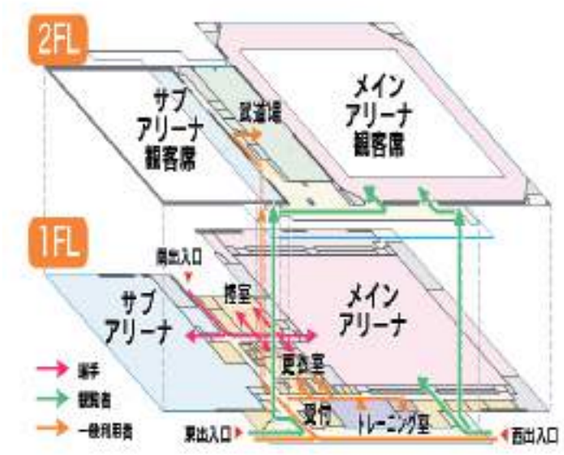
■ アリーナ計画

①多機能複合アリーナ

・プロスポーツ・大規模大会・市民利用に加え、産業体育館で開催されてきたコンベンション機能を継承します。

②大会時の安全性と円滑な大会運営

・観客と大会参加者、利用者のエリア・動線を分離し、大会時の円滑な運営が可能な施設構成とします。



③パフォーマンスを引き出す競技空間

スポーツ用長尺弾性塩ビシート床を採用し、近年頻発している木床の劣化による怪我や事故を防ぎます。

アリーナの天井と 2 階以上の壁は明度を低くし、バレーボールやのシャトルが視認し易い色彩とする。





III ｜ 施設構成

だれもが気軽にフィットネスに親しめ、スポーツと公園の「にぎわい」が溢れるアリーナ



■ 公園ににぎわいを発信する 「サブアリーナ」

アイレベルにガラス開口部を大きく設け、自然光が感じられる快適な競技環境を提供するとともに、活動風景を広場や公園全体に発信します。



■ 光と風が抜ける心地よい 「武道場」

南側の窓から東山の豊かな自然、光と風を取り込んだ心地よい競技環境をつくります。木を基調として和の趣と風格を感じる武道場とします。



■ 公園を眺望できる 「トレーニングルーム」

緑や広場のにぎわいを感じながらトレーニングが行える環境とします。公園利用者と「見る・見られる関係」をつくり、市民のスポーツ参加を誘引します。



■ 公園とつながる 「エントランスホール」

全開口サッシと半屋外テラスによって公園に対してオープンな関係とすることで、立ち寄りやすい地域に開かれた施設とします。吹き抜けや光を拡散するカーテンが明るく開放的な印象をつくります。



■ にぎわいと活動の息吹を注ぐ 「プロムナード」

プロムナードは移動空間・大会時の溜まりスペースだけでなく、バリエーションのある家具によって複数の居場所を創出します。プロムナードを介して屋内外の活動が相互に繋がり、にぎわいが連鎖します。



■ 誰もが水と緑と親しめる 「スポーツベルト」

四季折々鮮やかな自然美を見せる公園の風景と調和するランドスケープを創出します。ジャンピング噴水などの親水空間を設け、子どもからシニアまで誰もが水と親しみその豊かさを楽しむ風景を創出します。

III ｜ 施設構成

米子の美しい風景が息づく、市民へ繋ぐまちのシンボル

■ 地域の風景と共に築くファサードデザイン

・米子の自然や歴史的街並みの風景からデザインのインスピレーションを得て、
　市民に親しまれるオンリーワンの施設デザインを目指します。
・東山の恵まれたロケーションのなかで、建築のデザインを主張するのではなく、風景の
　一部となるよう、公園と建築を一体的に計画し周辺環境との調和・共存を図ります。


商都の白壁・加茂川


大山・水


陰影


水景

